

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高知県四万十町

本事業の担当部局名 企画課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	四万十町婚活支援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続				
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和5年度		
総事業費(A)(円)	1,040,384	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,040,384		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,040,384						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	62,000	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	62,000	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	978,384	0	0	0	0	1,040,384
	対象経費支出予定額	978,384	0	0	0	0	1,040,384
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通</p> <p>本町においては、少子化対策を「第2次四万十町総合振興計画」及び「四万十町デジタル田園都市構想総合戦略」の中に位置づけ、「結婚支援策の推進」として、これまでも各種取組を行ってきたが、依然として人口減少に歯止めがかからず、出生数も年々減少傾向にあることから、引き続き出産・子育て環境の充実とともに「結婚支援策の推進」に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け></p> <p>総合戦略の「基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の基本的方向「結婚支援策の推進」と位置づけており、希望どおりに結婚し、子どもが持てるように、独身男女の出会いから結婚、子育てまでの総合的な支援策を県や関係機関と連携のうえ、独身男女の出会いから結婚まで総合的な支援を実施するものである。</p>						
番号	項目	内容					
1	他自治体との合同イベントの開催	<p>昨年度事業で実施したイベントアンケート結果や地域の実情を踏まえ、県下で婚活支援に先進的に取り組む他自治体(四万十市、安芸市)と連携し、お互いのノウハウを活かしながら、参加者のニーズに応じたより効果の高いマッチングを伴うイベントを企画・運営する。各イベントにより多くの参加者を得るとともに婚活支援の取り組みを広域的に展開していくために、連携自治体のみならず高幡広域市町圏事務組合に所属する市町(中土佐町、須崎市、梶原町、津野町)の職員等に協力をしてもらい、各市町広報誌や公式ホームページを活用し、各市町在住の対象者やその家族等にもイベントの周知を行う。また、各市町は本町が提示した情報(チラシなど)を自治体内の主要施設に掲示もしくは配置するとともに、関係機関に配布し参加を呼びかけるほか、住民からの問い合わせに対応し、それぞれの地域における結婚機運の醸成を図る。また、イベント開催時にはイベントと有機的に連携する取組として、イベント参加者に対して、センターへの登録促進や高知県の実施するマッチングシステムの紹介をするほか、必要に応じて事前相談会を実施し、婚活サポーター及び婚活アドバイザーが伴走支援を実施する。なお、イベント開催に関する経費負担は、下記のとおり負担する。</p> <p>四万十市: イベントの開催に関する経費負担は本町が行うが、会場使用申請や広報・周知の経費は四万十市が負担する。</p> <p>安芸市: イベントの開催に関する会場使用料は安芸市が負担し、その他諸経費(チラシ作成、消耗品)等は本町が負担する。</p>					

個別事業の内容	2	スキルアップセミナー及び登録者等相談会の開催	<p>婚活アドバイザーによるセミナー及び相談会を実施して結婚を希望する独身者の恋愛力の向上を図るとともに、広域的に展開していくために近隣市町で出張登録相談会を実施して登録者の増員を図る。</p> <p>(1)スキルアップセミナー【実施回数：年3回 参加予定者数：計40名】 登録者やイベント参加者へのアンケート結果から「お引き合わせやお付き合いに繋がらない」という意見を踏まえ、「自分磨き」を重ね、婚活イベントでも好印象を与えてもらえるよう外的並びに内的要因を改善していくためのセミナーを実施する。</p> <p>(2)登録者等相談会【実施回数：5回 参加予定者数：5箇所計10名】 婚活アドバイザーによる登録者及び相談者会を高幡広域市町圏事務組合に所属する市町(四万十町、中土佐町、須崎市、梶原町、津野町)で実施する。</p> <p>(3)他自治体との連携 より多くの参加者を得るとともに婚活支援の取り組みを広域的に展開していくために、町内のみならず高幡広域市町圏事務組合に所属する市町(中土佐町、須崎市、梶原町、津野町)や県下で結婚支援に先進的に取り組む四万十市や安芸市の職員等に協力してもらい、各市町広報誌や公式ホームページを活用し、各市町在住の対象者やその家族等にもイベントの周知を行う。また、各市町は本町が提示した情報(チラシなど)を自治体内の主要施設に掲示もしくは配置するとともに、関係機関に配布し参加を呼びかけるほか、住民からの問い合わせに対応し、それぞれの地域における結婚機運の醸成を図るとともに、独身者のニーズに合うセミナーのテーマを選定するために、担当者による意見交換を行うなど広域的な婚活支援の推進を行う。また、イベント開催時にはイベントと有機的に連携する取組として、イベント参加者に対して、センターへの登録促進や高知県の実施するマッチングシステムの紹介をするほか必要に応じて婚活サポーター及び婚活アドバイザーが伴走支援を実施する。なお、セミナー等の開催に関する経費負担は本町が行うが、各市町における会場使用申請や広報・周知の経費は各市町の負担とする。</p>
	3	四万十町婚活連絡協議会の開催	<p>四万十町婚活連絡協議会(四万十町商工会、高知県農協、四万十町観光協会、四万十町連合婦人会、婚活サポーター、医療法人川村会くぼかわ病院、町役場で組織する団体)を開催し、地域が抱える課題を整理して今後の取り組みについて協議する。事務局(本町)は本事業の取り組みについて状況報告を行い、協議会の意見を参考にして、次年度以降の方向性を図る。委員は効果について検証を行うとともにイベントや各種セミナーに関する情報発信等を行い、未婚者の結婚対策を促進し地域の活性化も図る。</p> <p>【開催回数：年2回】なお、協議会に関する経費については本町が負担する。</p>
	4		
	<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の登録者が少ない(特に女性) ・お引き合わせやマッチング数を増やしたい ・お引き合わせにつながらない、お付き合いにつながらない <p>【以上の課題に対する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住婚×婚活(移住婚)の継続 ・町内に限らず広域的な登録者の増加 ・県、他市町村の婚活事業者等との連携 ・登録者の魅力アップ強化 		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		年間出生数	人	100	50 (R5年度)
	総人口に占める年少人口の割合(4年後に9.0以上)	%	9.1	8.9 (R5年度)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.55 (R4年度)	
	婚姻件数		件	37 (R5年度)	
	婚姻率			2.4 (R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	センター登録者数	人	40 (R7年度)	35 (R6年度見込)
	②	イベント参加者数	人	80 (R7年度)	59 (R5年度)
	③	参加者のうち、ボランティアの支援を受けた者の割合	%	60	「---」
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	「---」	「---」
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	「---」	「---」
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	「---」	「---」
	④	イベントでのマッチング数	組	5	3 (R5年度)
⑤	婚活アドバイザー及びボランティアの支援を受けた者の満足度	%	80	「---」	
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高知県四万十町
 本事業の担当部局名 企画課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターに関する取組							
個別事業名	四万十町婚活支援事業	新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続					
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日			事業開始年度	令和5年度	
総事業費(A)(円)	5,911,616	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0			差引額(A-B)(円)	5,911,616	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,911,616							
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費	
	総事業費	0	0	400,000	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	400,000	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	5,911,616	0	0	0	0	5,911,616	
	対象経費支出予定額	5,911,616	0	0	0	0	5,911,616	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本町においては、少子化対策を「第2次四万十町総合振興計画」及び「四万十町デジタル田園都市構想総合戦略」の中に位置づけ、「結婚支援策の推進」として、これまでも各種取組を行ってきたが、依然として人口減少に歯止めがかからず、出生数も年々減少傾向にあることから、引き続き出産・子育て環境の充実とともに「結婚支援策の推進」に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 総合戦略の「基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の基本的方向「結婚支援策の推進」と位置付けており、希望どおりに結婚し、子どもが持てるように、独身男女の出会いから結婚、子育てまでの総合的な支援策を県や関係機関と連携のうえ、独身男女の出会いから結婚まで総合的な支援を実施するものである。</p>						
個別	番号	項目	内容					
	1	婚活相談ワンストップ窓口(「四万十町出会い応援センター」として)の運営	誰もが気軽に婚活相談できる窓口となるよう、開所日だけでなく、婚活専用公式LINEや専用電話を活用して随時対応し、必要に応じて町婚活サポーターをはじめとする様々な支援者への橋渡しの役割も担うとともに、近隣市町村への広報を強化し、広域展開を目指す。引き続き「移住婚」(※一般社団法人婚活支援協会が運営する都市部から地方へ移住を希望したい独身者に結婚相手と移住先を同時にサポートする取組)受け入れ自治体として登録し、町内に限らず広域的な登録者の増加を目指す。 【設置場所: 四万十町農村環境改善センター 人員体制: 常時1名 開所日時: 毎週金曜日10時～18時 電話での対応は平日10時～18時、公式LINE・メールは随時受付】					
2								

事業の内容	3				
	4				
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 【課題】 ・町内の登録者が少ない(特に女性) ・お引き合わせやマッチング数を増やしたい ・お引き合わせにつながらない、お付き合いにつながらない 【以上の課題に対する取組】 ・移住婚×婚活(移住婚)の継続 ・町内に限らず広域的な登録者の増加 ・県、他市町村の婚活事業者等との連携 ・登録者の魅力アップ強化					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	年間出生数		人	100	50 (R5年度)
	総人口に占める年少人口の割合(4年後に9.0以上)		%	9.1	8.9 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.55 (R4年度)	
	婚姻件数		件	37 (R5年度)	
	婚姻率			2.4 (R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	センター登録者数	人	40 (R7年度)	35 (R6年度見込)
	②	県に登録する婚活サポーター及び町婚活サポーター数	人	45 (R10年度)	30 (R5年度)
	③	個別お引き合わせ数	組	20 (R10年度)	11 (R5年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	「---」	「---」
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	「---」	「---」
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	「---」	「---」
	④	ボランティアの支援を受けた者の満足度	%	80	「---」
⑤	登録会員数に対するお引き合わせ成立者数の割合	%	30	「---」	
⑥	公式LINE登録者数	人	80	60 (R6年度見込)	
⑦					
⑧					